

第8 少年相談

1 概況

- 少年サポートセンター（本部少年課に設置している「本部少年サポートセンター」と県内5地区のセンター警察署に設置している「地区少年サポートセンター」）及び各警察署において受理した少年相談件数は2,328件で、前年に比べ70件（2.9%）減少した。
- 相談を内容別で見ると、家庭問題が1,513件と最も多く、次いで非行問題、学校問題、交友問題、犯罪被害、自殺に関するもの、健康問題の順であった。
- 相談者別では、少年自身が287件（12.3%）、保護者等が2,041件（87.7%）であり、いずれも家庭問題に関する相談が最多であった。

少年相談の受理状況

(件)

相談内容 \ 相談者	合計	少年自身	保護者等
非行問題	247	21	226
学校問題	199	22	177
うちいじめ問題	64	6	58
家庭問題	1,513	130	1,383
交友問題	131	44	87
健康問題	12	1	11
犯罪被害	119	50	69
自殺に関するもの	33	7	26
その他	74	12	62
合計	2,328	287	2,041

2 少年サポートセンターにおける受理状況

- 本部及び地区の少年サポートセンターで受理した少年相談件数は合計537件で、相談者別では、少年自身が98件（18.2%）、保護者等が439件（81.8%）であった。

(1) 本部少年サポートセンター（ヤングテレホンコーナー）

- 本部少年サポートセンターで受理した相談件数は97件で、前年に比べ9件（8.5%）減少した。
- 相談内容別では、家庭問題が32件で最も多く、次いで非行問題、学校問題、交友問題、犯罪被害、健康問題と自殺に関するものが同数の順であった。

本部少年サポートセンターの受理状況

(件)

相談内容 \ 相談者	合計	少年自身	保護者等
非行問題	17	0	17
学校問題	16	0	16
うち いじめ問題	8	0	8
家庭問題	32	1	31
交友問題	12	0	12
健康問題	2	0	2
犯罪被害	4	0	4
自殺に関するもの	2	1	1
その他	12	2	10
合計	97	4	93

(2) 地区少年サポートセンター

- 地区少年サポートセンターで受理した相談件数は440件で、前年に比べ29件（6.2%）減少した。
- 相談内容別では、家庭問題が207件で最も多く、次いで学校問題、非行問題、交友問題、犯罪被害、自殺に関するもの、健康問題の順であった。

地区少年サポートセンターの受理状況

(件)

相談内容 \ 相談者	合計	少年自身	保護者等
非行問題	51	7	44
学校問題	52	6	46
うち いじめ問題	14	2	12
家庭問題	207	32	175
交友問題	45	20	25
健康問題	7	1	6
犯罪被害	39	21	18
自殺に関するもの	11	2	9
その他	28	5	23
合計	440	94	346